

平成29年11月13日

各 位

会 社 名 株式会社セキュアヴェイル  
 代表者名 代表取締役社長 米今政臣  
 (コード番号3042 JASDAQ)  
 問合せ先 取締役専務執行役員 神戸仁  
 (電話 06-6136-0026)

連結業績予想の発表及び  
 個別業績予想に関する修正のお知らせ

当社は平成30年3月期第1四半期より連結決算に移行していましたが、このたび、平成30年3月期第2四半期連結累計期間(平成29年4月1日～平成29年9月30日)及び平成30年3月期通期(平成29年4月1日～平成30年3月31日)の連結業績予想がまとまりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、平成29年5月12日に「平成29年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」で開示しておりました、平成30年3月期の個別業績予想につきまして、最近の業績動向を踏まえ、下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成30年3月期連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
第 2 四 半 期 ( 累 計 )	375	△45	△49	△42	△13.24
通 期	872	△2	△2	△3	△0.92

2. 連結業績予想の概要

平成30年第2四半期末時点においては、主力のセキュリティサービス事業が大手既存顧客層を中心に受注は増加傾向となる一方で商品売上が減少しました。また、販売費及び一般管理費が、増員に伴う人件費拡大等により増加しております。

連結子会社において新たに立ち上げた人材派遣事業につきましては、9月に労働者派遣事業及び有料職業紹介事業の許可を取得したばかりであり、グループ収益に貢献する段階に至るまでには、一定の時間が必要と考えております。

以上の状況を踏まえ、平成30年3月期の連結業績予想については、上記の数値をそれぞれ見込んでおります。

3. 平成30年3月期第2四半期個別業績予想(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 ( A )	498	8	9	6	2.09
今 回 修 正 予 想 ( B )	375	△42	△42	△38	△11.7
増 減 額 ( B - A )	△123	△50	△51	△44	

増減率（％）	△24.7	—	—	—	
（ご参考）前期実績 （平成29年3月期第2四半期）	381	16	17	11	3.45

#### 4. 平成30年3月期個別業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	1,000	28	29	26	8.30
今回修正予想（B）	865	4	4	3	0.92
増減額（B－A）	△135	△24	△25	△23	
増減率（％）	△13.5	△85.7	△86.2	△88.5	
（ご参考）前期実績 （平成29年3月期）	792	53	54	42	13.23

#### 5. 修正の理由

平成30年第2四半期末時点において、当社の売上高は、セキュリティサービス事業では大手既存顧客層を中心に引き続き受注増となっているものの、売上に反映されるまでには時間を要しております。また、当初見込んでいた大口案件の売上が下期にずれ込んだこともあり、前回発表予想の水準には及んでおりません。一方で、販売費及び一般管理費が、セキュリティサービス事業の受注増加傾向に備えて大幅な増員を図りました。その結果、人件費拡大等の増加により、結果、平成30年3月期の個別業績は第2四半期、通期ともに、各利益が前回発表予想を下回る見通しとなりました。

また、平成29年10月2日に開示した通り、当社が発行していた第4回新株予約権が平成29年9月29日をもって行使期間満了となり、全新株予約権が未行使のまま消滅しました。このため新株予約権戻入益5,104千円を、平成30年3月期第2四半期決算において特別利益に計上することとなりました。

平成30年3月期末に向けては、繁忙期である第4四半期を軸に売上高が引き続き伸長する一方、販売費及び一般管理費については経費の抑制等を通じ低減に向かう見通しです。経常利益は黒字に転ずるものの、前回発表予想の水準には及ばないものとみられます。

以上の状況を踏まえ、平成29年5月12日に開示した平成30年3月期第2四半期、及び平成30年3月期通期の個別業績予想については、上記の数値をそれぞれ見込んでおります。

#### ご注意:

- 1、連結業績予想の公表が遅れましたのは、連結対象となる子会社が、労働者派遣業の許認可取得に時間を要した為であります。
- 2、本資料に記載されている連結、個別の業績予想の記述につきましては、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて記載したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以上